

(203種郵便物認可)

ブラックベリー挿し木作る

土岐 介護老人施設利用者ら200株

土岐市下石町の介護老人福祉施設ドリーム陶都は、農業と福祉をつなぐ「農福連携」を通じて地域との関わりを深めている。同施設で三日、市内でベリー類を使った町づくりを進める団体とともにブラックベリーの挿し木作りをした。

施設利用者十人が参加し、職員や実習で交流のある短大生らの補助を受けながら作業に取り組んだ。手でポットに培養土を入れ、その中に二十センチほどのブラックベリーの挿し穂を差し込んでいた。挿し穂は、施設が育てている苗の枝を利用。市内の環境を生かしてベリー類の栽培普及活動をする「ベリ

ーベリープロジェクト」から昨年苗を譲り受け、敷地



内で育てていた。計二日間で挿し木約二百株を仕上げた。施設を運営する社会福祉法人「陶都会」の田中良和事務局長は「要介護の状態であっても、

ポットの中に土を入れ、挿し木する施設利用者ら＝土岐市下石町の介護老人福祉施設ドリーム陶都

地域の町づくりに関わることは利用者さんにとって有意義なものになる。来年以降もさらに挿し木の数を増やし地域の家庭や企業に広めていきたい」と話した。挿し木は今後、施設内で育てるほか、同市内の東濃特別支援学校にも株分けする予定。
(脇阪憲)